

快適な車内環境を目指して

普通列車全車両に「押しボタン式ドア開閉」を試験導入

富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市、社長：堀内光一郎）では、富士急行線における冬季の車内環境の改善を図るため、「押しボタン式ドア開閉」を普通列車全車両で試験導入いたします。

「押しボタン式ドア開閉」は、電車ドアをお客様のボタン操作により開閉するもので、各駅に停車時、お客様が乗り降りされるドアのみの開閉となり、寒い季節の列車内の温度を保つことができます。

今回の試験では、11月20日～30日の間、普通列車全車両に「押しボタン式ドア開閉」を導入して、運行状況の確認と早朝及び夜間の気温の計測を行います。

弊社では、快適な車内環境の提供を目指してまいります。

詳細につきましては下記のとおりです。

記

1. 実施期間 平成26年11月20日（木）始発 ～ 平成26年11月30日（日）終電まで
※試験期間の結果を活かし12月以降も継続して実施する予定です
2. 実施区間 大月駅 ～ 河口湖駅間
3. 対象列車 各駅停車の全列車対象
(富士登山電車、フジサン特急、トーマスランド号、JR直通高尾発着列車は除く)
4. その他 天候・気温の状況により実施期間を変更する場合があります。